



JAPAN REGION

効果的なコミュニケーション

EFFECTIVE
COMMUNICATION

目 次

Table of Contents

Vol. 14 / No.2. Jan. 1996

日本リージョン会長新春メッセージ	Message from Japan Region President	2・3
ディビジョンⅣ副会長新春メッセージ	Message from Division Ⅳ Vice President	4・5
各委員会より	From Committee Chairs	6・7
1995年度 ITC 標準会則の変更	Changes of Standard Bylaws 1995	8～10
「日本における世界大会の実現」に向けて	To Realize ITC Convention in Japan	11・12
日本リージョン事務局通信	From Japan Region Office	13
カウンスル運営研修会報告	CMT Report	14
ズーム・アップ…翻訳委員会	Zoom Up	15
インターネット	Internet	16
大震災 あれから一年	A Year after the Earthquake	17・18
第14回 日本リージョン年次大会	Japan Region 14 th Annual Conference	19
大会プログラム予定表	Region Conference Program Plan	20
教育セッション一覧表	Training Session Program	21
登録・食事申込書	Registration & Meal Reservation Form	22
ホテル宿泊申込書	Hotel Reservation Form	23
大会準備委員会名簿	Annual Conference Committee	24
大会予算書	Annual Conference Budget	25
観光・交通案内	Sightseeing & Traffic	26

震災を乗り越えて

カウンスル例会風景



(No. 2 講演、ストーリーテリング)



(No. 3 ワークショップ、世界大会報告)

新春挨拶

Message from Japan Region President

日本リージョン会長

江藤 万里子



Japan Region President

Mariko Eto

1996年、新年のお慶びを申し上げます。昨年1月17日の阪神大震災以来、まる一年が経ちました。罹災なさいました方々に於かれましては何かとお大変な一年間でごさいましたでしょうかとお察し申し上げます。その後、皆様が前向きの姿勢で立派に立ちなおっておられるご様子に接し、嬉しく存じました。その節、いち早く寄せられましたITC本部の方々のお見舞いのメッセージ、日本リージョンの各カウンスル、クラブの会員の皆様から、お励ましのお言葉と共に寄せられた心温まる義援金をお寄せ下さいました事、改めて日本リージョンから厚くお礼申し上げます。

昨秋、京都、岡山の2ヶ所で行われましたカウンスル運営研修会は、初めての試みでしたが、参加者もリーダーも共に理解と協力を持って研修することが出来ました。結果として、一堂に会して話し合う事が出来ない弱点もございましたが、分割の前の一つの試みとして実践出来ました事を感謝申し上げます。

PREMの活動は今期も活発に行われています。その成果を大いに期待致しております。新春早々徳山方面に新クラブ誕生間近との嬉しいニュースも伝わりました。

今期日本リージョンが短期目標の一つとして掲げました組織運営の簡素化として、効率よい伝達方法を推進して参りましたが、そのリージョンの簡素化の実践を皮切りに、各カウンスル、クラブでも、小さな事から簡素化が始まっています。リージョン、カウンスル、クラブと一貫して一つの事を実行し推進していけるといえるのはITCのすば

It is my pleasure to wish you all a happy New Year. Just a year has passed since the terrible earthquake, the Hanshin Daishinsai, on January 17th of last year. I deeply sympathize with the victims who were confronted with many difficulties, and at the same time, I appreciate that they have overcome and recovered from the disaster.

Immediately, Headquarters sent letters of sympathy. A lot of members of the Japan Region sent them warm encouragement and contributions.

I would like to express my appreciation again to all those who gave their support.

We held the council management training in Kyoto and Okayama last autumn. It was our first attempt to have CMT divided in two places. Though we missed meeting together, our training sessions were successful.

The PREM committee has been active as usual with good results, no doubt. I have just heard the pleasant news that a new club will be chartered in the Tokuyama area early this year.

One of our short-range goals in the Japan Region is to simplify ITC management. Every council and club as well as the Japan Region have started to simplify their management from the top to bottom. ITC is, indeed, a great training organization where we can carry out the simplification plan, uniting together in all clubs,

らしい訓練であり、効果的なコミュニケーションの一つの現れではないかと思っております。

今年度リージョン大会のテーマが決まりました。

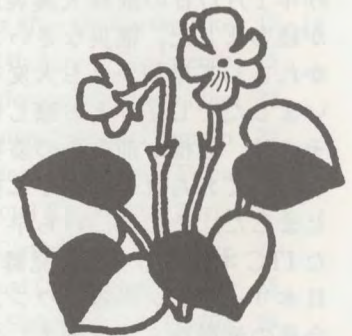
「あなたの煌めき 世界のあしたへ」

今期ITCテーマ“地域を率いて世界に伸びよう”に関連づけ、あなたの煌めきを地球規模に世界へ発展して下さる事を希っております。

councils, and the region.

The theme of the Region conference of this year has been decided. "For your Shining Future in Tomorrow's World"

It is connected with the ITC theme of this year, "Lead Locally and Grow Globally" I hope that you will develop your special sparkling abilities on a worldwide scale.



〔南大阪クラブ〕——10周年

大阪で誕生して10年を
新しい帝国ホテルでお祝いをします。

日時：1996年3月25日(月)

AM11:00~PM3:00

場所：大阪帝国ホテル

会費：1万円

〔尼崎クラブ〕——10周年

地震のショックから立ち直り
念願の10周年を迎えます。

日時：1996年3月26日(火)

AM11:00~PM3:00

場所：大阪ロイヤルホテル

会費：9000円

〔関西クラブ〕——20周年

激震を乗り越えて20年のキャリア
いま、充実の時を迎えます。

日時：1996年4月10日(水)

AM11:00~PM3:00

場所：大阪ウエスティンホテル

会費：1万円



ディビジョンⅣ副会長新春メッセージ

Message from Division IV Vice President

Division IV Vice President

Gael Collins



ディビジョンⅣ副会長

ゲイル コリンズ

As we start the new year of 1996 as members of International Training in Communication, it is timely to reflect on the last years activities and review our personal aims and goals.

Have you completed part or all that you wished to achieve, or are you still wishing? If you have achieved your goals, congratulations, your efforts and the support of your fellow members has been successful. If not well now is the time to revise your plans and rethink those goals.

Ask yourself, are those goals still relevant for me? Are they realistic? And then plan the steps to achieve them. We do not work in isolation, so let your Club and Council Officers know your needs for education and participation opportunities. Share your goals with fellow members and ask for their support and encouragement. Accept challenges as they present, nothing teaches like doing and you could surprise yourself! Those small steps taken regularly soon add up to long strides and before you know it, that goal is reached. Success is yours.

Share your ITC world and encourage others to enjoy the benefits of personal development and communication skills. You are an example to others, you are a success.

My best wishes for the continued success and happiness of all Japan Region members, may you all "Lead Locally and Grow Globally" within our special ITC world.

日本リージョンの皆様、新年おめでとうございます。

1996年の新しい年の初めに、ITC 会員として昨年一年間の活動を振り返り、各自の計画や目標を検討する絶好の機会です。

目標全て、あるいは一部でも達成できたでしょうか。それとも、まだでしょうか。達成された方、おめでとうございます。あなたの努力と会員仲間の支援が功を奏したのです。うまくいかなかった方、今こそ、あなたの計画を見直し、目標を再考する時です。

その目標は今でも、あなたにふさわしいものですか。現実的なものですか。自問自答してみてください。その上で目標達成の足掛かりとなる計画を立てましょう。私達は一人で活動しているではありません。クラブやカウンスルの役員に、あなたがどのような教育や活動の場を必要としているのかを知らせてください。会員同志で目標を共有し、援助と励ましを求めましょう。難しい仕事でも挑戦してください。実際にやってみることが一番の勉強になりますし自分でも驚くほどの成果が得られるかもしれません。小さな一歩が積み重なって大きな一歩になり、いつの間にか目標に到達しています。成功はあなたのものです。

自己を啓発し、コミュニケーション技術を習得できる機会を他の人にも分けてあげてください。あなた自身が良いお手本となって、ITCの輪を広げてください。

日本リージョンの皆様のご活躍とご多幸をお祈りします。ITCというすばらしい組織の中で「地域を率いて世界に伸び」てください。

前ページに掲載しましたメッセージに添えて、ディビジョンⅣ コリンス副会長から、お手紙をいただきました。一部抜粋して紹介します。



会報が見事にできあがっていると同時に、会員のために掲載された情報の内容に賛辞を贈りたいと思います。会員は、常に情報を得ていることと思います。

バイリンガルクラブがどのように執り行われているか、教えていただけませんか。毎回の会合では、日本語と英語の両方を使っているのでしょうか。会員は、皆バイリンガルですか。どんな問題が、今までにありましたか。ヨーロッパのいくつかのクラブはバイリンガルですので、同じ気遣いをされているのではないかと、教えていただければと思います。日本のクラブは、月に1回の日中に集まる会合をしていることは、何年も前に聞きました。家庭以外に職業をもっている会員が増えた今、どのように変わりましたか。

10月の役員会で、日本リージョン主催のITC大会のことが、議題に上がりました。ここ3年間の開催予定地は確定しています。3月の役員会でそれより先の予定地についての提言を検討し、日本の要請についても、そのときに考慮することになっています。私自身、日本を訪問し、リージョン大会に出席した経験から、日本の会員の熱意と国の美しさを会員に味わってもらうために、将来実現することを望んで止みません。

I congratulate your Region on its beautifully presented magazine and on all the information it contains for your members, they are kept well informed.

Will you please share with me how the bilingual clubs operate? Do they have both Japanese and English spoken at each meeting? Are all members bilingual? What problems are experienced? Some Clubs in Europe are bilingual also so we wish to see if you share the same concerns. I know for years that the Clubs in Japan met monthly and in the daytime. With more members now involved outside the home in careers how has this changed?

The matter of an ITC Convention being hosted by the Japan Region was raised at our October Board meeting. The venues for the next three years have been confirmed. At the March Board meeting we will look at suggestions for future sites and Japan's request will be considered then. Having visited Japan myself and attended your Region Conference I hope it will be possible in the future for members to enjoy the enthusiasm of Japan members and the beauty of your country.

Gael Collins

なお、バイリンガルクラブについての質問には、会報3号の紙面で、答えたいと思います。

ITC本部企画委員会 ITC Strategic Planning Committee

企画委員会の任務

ITC 本部企画委員 置 塩 啓 子

「ITC 委員会マニュアル」によると、企画委員会の任務は 1. ITC の将来に関わる計画を立案し 2. 役員会に提出する勧告を作成し 3. 承認された提案の実行案を創る とあります。

アニタ・ヘンツラー委員長は今期の委員会の目標を、増設、構造、財務、その他の4つに指定しています。アメリカ合衆国から3名、南アフリカ1名、日本1名から成る委員たちは、それらについての報告を12月1日までに提出し、1996年2月上旬に電話またはファクシミリによる委員会を開くことになっています。

この委員会が、ITC 役員会に対して内容のある勧告を提案できるように願っています。

PREM チーム委員会 PREM Team Committee

地域社会に ITC の出来ることを

委員長 西 田 富 美 子

芽ばえを大切に(増設) 各自のイメージの向上(広報) 会員の増強と保持(会員)

それぞれ PREM チーム三委員会の目標でもあり、その機能を十分に果たしていく中で、今期 PREM は“地域社会に ITC の出来ること”を示すことを各カウンスルにお願いいたしました。第1回報告書では、地域性を生かして独創的で多様な行事企画や積極的な行動の展開が報告されています。また一方では、会員の伝達技術と指導力を更に高める必要があるとの認識から、PREM へ向けての啓蒙を考えて下さっています。PREM 活動が軌道に乗ってきていることを強く感じます。ITC では、PREM 功労賞をチームだけでなく会員個人にも焦点をあてて推進をうながしています。推薦の基準は①PREM の概念をしっかりと理解していること②地域社会での PREM 活動に献身的であることが実証されていること③可能な限り ITC を紹介することに努力していること④新しい PREM の着想に貢献していること⑤良い結果を生んだ PREM の行事に一度は参加していること。日本リージョンでは一人でも多くの会員を推薦できることを望んでいます。会員の皆様、ご自身の PREM 活動にどのような言葉を準備して下さいますか。行動が変化をもたらします。私たちの ITC の発展に PREM 活動で貢献いたしましょう。

スピーチコンテスト委員会

Speech Contest Committee

応援してください

委員長 大野三恵子

「リージョン大会で一番印象に残ったことは？」のアンケートに最も多くの方が「スピーチコンテスト」と答えられています。ITCが目指すことの一つである「話し方の向上」のトレーニングの成果がここに表れるからでしょうか。スピーチコンテスト委員会の仕事も又「組織の運営の方法」を学ぶための大切な機会です。

「スピーチコンテストの規則と任務」および諸用紙は、1995年から1997年まで変わりません。ただ一ヶ所、プログラムリーダーの項目、8、9、の順序が変わります。もう既に書き替えはお済みのことと思います。殆どのことは「規則と任務」をお読みいただければ良いのですが、コンテストを行う上でお気付きのこと、疑問点などがありましたら各カウンスルの委員長をとおしてご意見をお寄せください。

クラブからは、日本語、英語二人の代表を出すことが出来ます。スピーカーが一人でも多く出場されることを期待します。

皆様の成果が十分に発揮出来ますようにスピーチコンテスト委員会一同心をこめて準備してゆきたいと思っています。聴衆の応援がスピーカーの何よりの励みになります。多くの方々のご参加をお待ちしています。

指名委員会

Nominating Committee

期待を込めて

委員長 常田道子

リージョン役員と指名委員候補者の推薦は、3月5日期限です。各クラブ会長にはリージョンメールで推薦依頼を致しました。役員候補者資格のある会員が在籍されるクラブでは、真剣な検討が行われていることと思います。

近年、候補者が各役職に1名ずつしか出られない状態が続きます。会員がそれほどリージョンに無関心であろうとは信じたくありません。よい役員を送り出すことは、リージョンの未来を約束することです。リージョン役員は大きな責任あるお仕事に就きますので、ほんの少し忙しくなるかも知れません。でも、提供した時間や努力に対して比べようのない大きな素晴らしいものを受け取ることができるのです。

できれば、リージョン委員会活動を体験し、リージョンの組織的活動をよく認識されてから役員になられることが、ご本人のためにもプラスになるのではないのでしょうか。研究心と熱意ある会員を推薦していただきますことを期待致します。

クラブは、会員の日頃の状況を一番よくご存じです。リージョン会則第5条B項の資格をご参照の上、今、日本リージョンが最も必要とする候補者を熟慮ご推薦ください。派遣員が投票のとき迷うような、候補者がズラリと並んだ活気あふれる選挙をしてみたいと期待する会員の声は、とても大きいのです。

1995年度 ITC 標準会則の変更

Changes of ITC Standard Bylaws 1995

会則・決議委員長 木下 あつ子

標準クラブ会則

1. 第9条 委員会とその任務 A項 常任委員会
「11.ライティングコンテスト」を付加する。
2. 第9条 B項 常任委員会の任務 1.資格認証
「資格認証委員会は」を削除する。
a. を「資格認証委員会委員長はクラブの役員会の承認を得て、クラブ会長により任命される。」に置き換える。
3. 第9条 B項
「11.ライティングコンテスト ライティングコンテスト委員会は、ITC ライティングコンテスト規則に従ってクラブのライティングコンテストを行う。」を付加する。以下の番号が繰り下がる。

標準カウンスル会則

1. 第9条 委員会とその任務 A項 常任委員会
「11.ライティングコンテスト」を付加する。
2. 第9条 B項 常任委員会の任務 1.資格認証
a. を削除し、b.をa.とする。
3. 第9条 B項
「11.ライティングコンテスト ライティングコンテスト委員会は、ITC ライティングコンテスト規則に従ってカウンスルのライティングコンテストを行う。」を付加する。以下の番号が繰り下がる。

標準リージョン会則

1. 第9条 委員会とその任務 A項 常任委員会
「14.ライティングコンテスト」を付加する。
2. 第9条 B項 常任委員会の任務 1.資格認証 a
「資格認証委員会委員長はリージョン役員会の承認を得て、リージョン会長により任命される。」に置き換える。
3. 第9条 B項 8.増設
「PREM 及び/又は増設」に置き換える。
以下「増設」は「PREM 及び/又は増設」に置き換える。
4. 第9条 B項 8. f.
「リージョンはPREM 及び/又は増設の経費を予算に計上する。」に置き換える。
5. 第9条 B項
「14.ライティングコンテスト ライティングコンテスト委員会は、ITC ライティングコンテスト規則に従ってリージョンのライティングコンテストを行う。」を付加する。
以下の番号が繰り下がる。
6. 第9条 「D項 ジーニスクラブ」を新たに付加する。
「D項 ジーニスクラブ：ジーニスクラブと称される若年のクラブは、首尾一貫したITC方針をもって、スピーチ技術及びグループ指導力の学習と演習をするものとして、リージョン役員会によって認可されることが出来る。クラブは、リージョン会員あるいはジーニスクラブの手引にそって、プログラムを統括する資格のある人によって援助される。会費は役員会が決定する。申請書受理の時点で加盟証明が交付される。このクラブの会員はITC教育資料を購入することができる。」

Standard Club Bylaws

1. ARTICLE IX. COMMITTEES AND THEIR DUTIES, SECTION A. STANDING COMMITTEES
Adding "11. Writing Contest".
2. ARTICLE IX. SECTION B. DUTIES OF STANDING COMMITTEES,
 1. Accreditation
Striking out "The accreditation committee shall :"
Substituting "a. The chairman of the accreditation committee shall be appointed by the club president with the approval of the club board of directors."
3. ARTICLE IX, SECTION B
Adding "11. WRITING CONTEST. The writing contest committee shall conduct the club writing contest in accordance with ITC writing contest rules." and then the followings should be renumbered.

Standard Council Bylaws

1. ARTICLE IX. COMMITTEES AND THEIR DUTIES, SECTION A. STANDING COMMITTEES
Adding "11. Writing Contest".
2. ARTICLE IX. SECTION B. DUTIES OF STANDING COMMITTEES,
 1. Accreditation
Striking out a. and renumber b. to a.
3. ARTICLE IX, SECTION B
Adding "11. WRITING CONTEST. The writing contest committee shall conduct the council writing contest in accordance with the ITC writing contest rules as published." and then the followings should be renumbered.

Standard Region Bylaws

1. ARTICLE IX. COMMITTEES AND THEIR DUTIES, SECTION A. STANDING COMMITTEES
Adding "14. Writing Contest".
2. ARTICLE IX. SECTION B. DUTIES OF STANDING COMMITTEES,
 1. Accreditation, a.
Substituting "The chairman of the accreditation committee shall be appointed by the region president, with the approval of the region board of directors."
3. ARTICLE IX, SECTION B, 8. Extension
Substituting "PREM and/or Extension" and the following "Extension" should be substituted to "PREM and/or extension".
4. ARTICLE IX., SECTION B, 8. f.
Substituting "The region budget shall provide for PREM and/or extension expenses."
5. ARTICLE IX., SECTION B.
Adding "14. Writing Contest. The writing contest committee shall conduct the region writing contest in accordance with the ITC writing contest rules." and the followings should be renumbered.

6. ARTICLE IX.

Adding a new Section D. Zenith Clubs.

"Section D. Zenith Clubs: Youth groups to be known as Zenith Clubs may be authorized by the region board for study and practice in speech techniques and group leadership skills, consistent with the policies of ITC. Clubs shall be assisted by region member (s) or by a person(s) qualified to coordinate the program as set out in the manual for Zenith Clubs. Any dues shall be determined by the region board. On acceptance of application, a certificate of affiliation shall be granted. Members of these clubs may purchase ITC education material."



◆クラブの特別例会の時も必ず「教育」は必要でしょうか？

プログラム委員会は、いつもクラブ会員がどのようなプログラムを望んでいるか、またどのようなプログラムが会員に役立つかを分析して計画を立てます。

マスターマニュアルは「ワードパワー」「今日の話題」「教育」のうちどれか一つか二つを主プログラムと組み合わせて計画を立てることを勧めております。

クラブによって「教育」と「今日の話題」を例会毎にとり入れることもいいでしょうし、主プログラムがワークショップの時は「教育」は行わないクラブもありというように自由に考えて計画を立ててください。

従って、特別例会でも必ず「教育」をしなくてはならないということはありません。

◆呼びかけはどのような時にしたらよろしいでしょうか？

会員は例会に出席していて、審議への参加を含めいろいろな場で発言しますが、その時議長に「呼びかけ」をいたします。これは会員が守らなければならない儀礼的な慣習です。

会員はまず起立して議長に呼びかけ、発言権を得てから発言します。又、他の会員に話しかける時も議長を通していたします。これらの手続きを踏まない発言はルール違反として採り上げられません。

事務会議の中の役員報告では書記と会計は毎回報告することになっているため議長への呼びかけは不要です。

会長以外の者が議長の役を務めている場合の呼びかけについては、

「議事法マニュアル」P.69をお読み下さい。

(解答者：議会法規役員 須知 繁子)

長期目標 「日本における世界大会の実現」に向けて

To Realize ITC Convention in Japan

日本リージョン会長 江藤万里子

今期日本のITCは創立45年を迎えました。日本リージョンは長年の夢でありましたITC世界大会を日本で開催することを更めて考え、ITC公式訪問者、ITC役員の方々にお話しを致しましたところ皆様のご賛同を得、今期「日本における世界大会の実現」を長期目標の一つに致しました。これはオリンピック開催国の誘致で皆様ご存じの様に、ITCも同じくITC本部からではなく、私共の開催地から誘致するという形を取ります。その諸手続き、準備を長期目標として調査し、報告することを教育促進委員会に要請致しました。世界大会は現在2000年迄ほぼ決まっておりますので、今年日本から希望を出しても2000年以降2005年迄の間になります。

扱、日本国内の開催地をあらゆる角度から考えて見ますと、地理的に集まり易い日本の中心地、そして開催会場ホテル等、立地条件と経済的にみて適している事、そして何よりも日本のITC発祥の地であり歴史の重みを感じさせる場所であるという事で、日本に於いての世界大会を名古屋にて2000年以降2005年迄の間に開催することを念願し進めて参りたいと存じます。日本で世界大会を開催するときは是非同時通訳で行いたいというのが念願です。幸い名古屋に近年国際会議場が完成し、ITCの世界大会を開催するのに適した施設が完備されています。又、世界中から大勢の会員が出席し、日本中の殆どの会員が出席しても対応出来るだけの設備が整っています。英語を日常語としない国のITCが、どの様に発展して今日このように成長したかを世界中の会員に見て戴き、理解していただく又とない機会ですし、何よりも日本の一般社会へのPRとなり、ITCに対する認識を高めて戴けるチャンスになると思います。日本の会員は日本に居ながら世界大会に認識を高めて戴けるチャンスになると思います。是非日本へ世界中の方々をお迎えしたいと思います。

つきましては誘致の申し出を10月10日のITC本部役員会に提出するために、去る9月7日カウンスル会長宛、此の件にご賛同戴くためのお願い状をお送り致しましたところ7カウンスルからご賛同の書簡を受け取りましたので他の資料と共に本部役員分の写しを作成し、まとめてITC世界会長の元へ発送致しました。資料作成に先立ち国際会議場の理事長でもあらせられる西尾武喜名古屋市長からITC世界大会開催の趣旨をご理解下さいましての誘致ご推進手紙文を戴きましたのでこれも送付致しました。

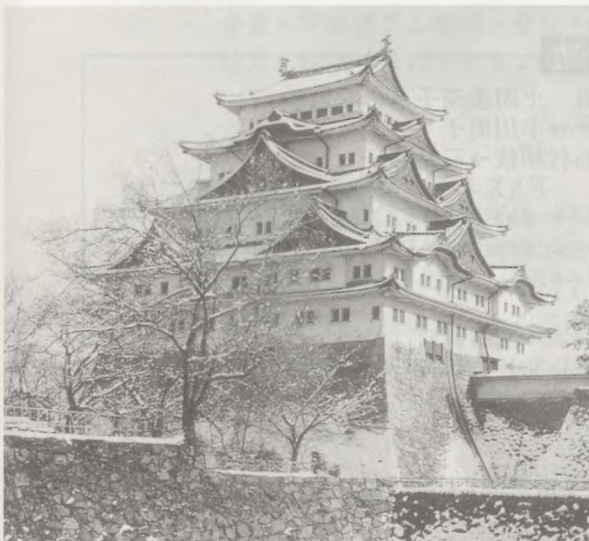
尚カウンスルNo.1所属クラブの方々には特にご理解を戴きたく、クラブ会長宛ご説明のお手紙を出させて頂きました。カウンスルNo.1会長田口邦子さまから戴きました日英両語のご賛同文の日本語文を次頁に掲載させて頂きます。

今期長期目標の一つと致しました「日本における世界大会の実現」に、ご理解ご協力戴きました各カウンスルの皆様方にお礼申し上げますと共に、日本リージョンのホステスリージョンにむけての実践に更なるご協力をお願い致します。

ITC会長および役員の皆様へ

カウンスルNo.1 会長 田口邦子

今から45年前、第2次世界大戦敗戦の混乱と物資不足の中、日本のほぼ中央に位置する名古屋の地で、進駐軍のアメリカの将校さんによって始めてITCの種はまかれました。以来、全国に75クラブ、8カウンスル、1800名の会員による世界一のリージョンとなりました。これはITCの優秀な教育マニュアルと充実した楽しいプログラムによるもので、知的な向上心と友情を求める女性たちを十分満足させている明確な証しであります。そのカウンスルNo.1に所属する名古屋の地で、日本で最初のITC世界大会を開催しようという気運が盛り上がり参りました。何事にも慎重で内向的な名古屋人としては画期的なことであります。さいわい人口240万の産業・商業都市名古屋には、国際会議場、ホテル、空港を有するばかりではなく、日本の歴史的な三英傑が育った地であり、城下町としてお城や美術館、日本人の祖先を祭る神宮、広大な動物園、植物園、水族館、トヨタ自動車工場など、見所にも事欠きません。また、東の東京、西の京都、大阪、神戸からも新幹線を利用すれば1時間半という地の利の良さであります。また、日本の伝統文化をぜひ味わって頂きたいのですが、茶道、華道、能、狂言、歌舞伎、日本舞踊など名古屋は芸どころとしても有名であり、お望みならば、日本の味もお楽しみ頂けるものと思います。名古屋コーチン(チキン)、おすし、天プラ、すき焼き、日本料理の繊細な味と器(陶器)の美しさは思い出になることと思います。世界中から御客様を迎えるに当たり、言葉(通訳)や物価の高さ、過去の世界大会参加経験者の少なさなど、問題がないわけではありませんが、今まで培ってきたITCで得た能力を十分発揮できる大きなチャンスとして全員で努力して参りたいと思います。世界中のITCのメンバーと日本の真中、名古屋の地でコミュニケーションできることを大変楽しみに、また、大会開催を大きな目的として、ますます、ITCの活動を活発にしていけるものと考えています。日本の良さと、日本女性の優しさと知性と実行力を感じて頂ける素晴らしい大会になることを信じて、ここにITC世界大会を名古屋の地に誘致することを表明致します。また国際都市名古屋を目指す、名古屋市長のバックアップも得られることと思います。ぜひ大勢の会員のご参加をお待ち致しております。



名古屋城

お詫びと訂正

会報 Vol.14, No.1

P.13 予算費(Reserve Fund)→予備費

P.18 予算費(Reserve Fund)→予備費

P.37 千里クラブ 永田昌子

FAX 833-1802→871-7021

P.40 東葛クラブテーマ

一步は努力から→一步は協力から

会則決議委員会より

P.20 ITC 会則及び常規の修正

6. D項1. カウンスルの数が

3以下→3未満

2. ITC 役員が→ITC 役員会が

会員名簿

日本リージョン会長 江藤万理子→万里子

日本リージョン事務局通信

From Japan Region Office

事務局のシステム化、いよいよ実現

今期のリージョン役員会は長期目標として、「事務局体制のシステム化」を掲げています。また、ITC本部ではこの8月にインターネットに加入し、コンピューター通信を通じて世界中の情報がすぐに入手できるようになりました。日本リージョンの会員からも、リージョン事務局にコンピューターを早期に導入してはどうかという声が聞かれるようになりました。

コンピューターを事務局に設置することによって、毎年増加する資料の管理及びリージョン資料の充実、会員名簿の作成、経理事務の合理化やITC本部との情報交換の迅速化など、多様化する会員の要望に応えるとともに、事務局や会員の仕事の合理化、簡素化を進めることができると考えられます。

リージョン役員会ではこれらのことを考え、できるだけ早い時期に事務局にコンピューターを購入し、操作する専門の要員を会員から募集してアルバイト料を支払う予定です。

事務局経理の仕事

1. 日本リージョン会員(約1800名)のITC年会費をドル換算して、毎年7月に本部へ送金する。
 2. クラブに入会される新会員の入会金と年会費を本部へ送金する。
 3. 新会員のマスターマニュアルの申し込み、代金受付、送付をする。
 4. 継続会員のマスターマニュアルの申し込み、代金受付、送付をする。
 5. ITC本部の英語教育資料及び物品の申し込みをドル換算して送る。
 6. 増設される新クラブに関しての納入金をITC本部へ送金する。
 7. 事務局に関する会計業務をする。
- *リージョン会計より一年分の子算額を預かり、事務経費、翻訳費、人件費、事務所家賃、事務所諸費等の支払。

注)事務局経理と資料物品購入の振込郵便口座番号は別々となっている。

(1995年-1996年 日本リージョン会員名簿 164頁参照)

役員異動

- | | |
|------------|--|
| カウンスルNo.4. | ●九州クラブ カウンスル派遣員 土田美奈子→杉本恵子 |
| カウンスルNo.5. | ●豊中クラブ 会長 山本カネ子→中川周子 |
| カウンスルNo.7. | ●米子マンデークラブ 書記 西村頼枝→石見善子 |
| カウンスルNo.8. | ●柏クラブ 会長 田中克子 FAX番号 46-8349→47-5080 |
| | ●青山クラブ 遠藤万寿美(カウンスル第一副会長) (新)FAX 03-5310-5637 |
| | ●東京クラブ 関 稔子(カウンスル第二副会長) (新)FAX 03-3395-8679 |
| | ●東京クラブ 桜井 慶子(カウンスル会計) (新)FAX 03-3786-8214 |

住所変更

- | | |
|------------|---|
| カウンスルNo.2. | ●御影クラブ 船本純子(カウンスル派遣員)
〒658 神戸市東灘区住吉台41-1-301 ☎078-854-2398 |
| カウンスルNo.3. | ●関西クラブ 江藤万里子(リージョン会長)
〒659 芦屋市東芦屋町16-10 |
| カウンスルNo.7. | ●米子クラブ 勝部 翠(編集者)
〒683 米子市東福原1260→米子市新開1丁目2-73 |

カウンスル運営研修会報告

CMT Report

プログラム・教育委員長

早川住江

今期秋のカウンスル運営研修会は、初めての試みとして下記のように2つのグループに分けて行いました。8カウンスルが広範囲になり1ヶ所に集まるよりは地域を2つに分けて、時間と交通費の節減を図ることを目的に開催されました。一応便宜上1グループを4カウンスルにしましたが、出席者の都合でどちらのグループに出席してもよいという条件付きでしたので、出席率は98%でした。地域の分け方、開催地、また2度出席のリーダーの問題など今後検討すべき点はありますが「少人数なので十分な話し合いと情報交換ができた。」とおおむね好評でした。

グループ (1)	カウンスルNo.1・5・6・8
日 時	10月26日(木) 11:00~15:00
場 所	京都センチュリーホテル
出 席 者	81名(内リーダー13名)《事務局会計を含む》 リージョンプログラム教育委員2名
グループ (2)	カウンスルNo.2・3・4・7
日 時	11月1日(水) 11:00~14:30
場 所	岡山国際ホテル
出 席 者	45名(内リーダー12名) リージョンプログラム教育委員3名

☆分科会：12部門

会長・プログラム教育・会員・書記・会計・議会法規・編集・資格認証・会則決議
増設・広報・スピーチコンテスト

出席者のコメント

- * 小人数なので話しやすかった。
- * 資料はリーダーからだけではなく、カウンスル同士も交換したい。
- * コーラー関連は6月のCMTで全研修を希望する。
- * 情報交換の意味合いから二会場に分かれる場合、別に全カウンスルの同じ役職が集まる機会が欲しい。

ズームアップ

華やかさは氷山の一角

翻訳委員会



たった一つの単語を日本語にするために、ありったけの辞書や文法書を引っ張り出し、時には友人、知人に電話をかけ、FAXを送る。翻訳は案外、地味で孤独な作業である。今回は翻訳委員会にスポットをあて、約30名の委員を率いる藤本博子委員長に翻訳作業の流れを報告していただきました。電話でのインタビュー付。

翻訳委員会の仕事

委員長 藤本 博子

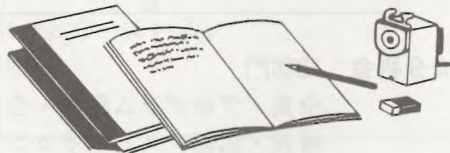
ITCには翻訳方針が定められていますので、誰でもが種々の言語に翻訳できるわけではありません。日本の場合は、日本リージョンに翻訳許可が与えられていますので、世界のITCに遅れをとらぬよう、リージョンの翻訳委員が一所懸命仕事をしています。

けれども、必ずしも日本語に訳して意味のあるものばかりではありません。文化や習慣、表現の違いなど、いろいろな理由で、日本語になれば意味のない資料となることもあります。それらを考慮に入れて、リージョン会長、事務局長、翻訳委員長が資料を選択し、翻訳にとりかかります。

翻訳委員会は、コミュニケーター、教育資料、オールクラブメーリングの3部門に分かれ、それぞれに主任をおいて活動しています。選択された資料や記事は主任を通じて委員に分担され、翻訳されます。翻訳された原稿は主任が回収し、使われている言葉や言い回しの統一を行ない、委員長に返送します。委員長が再度目を通して、出版準備にとりかかります。

年6回のコミュニケーターは、それぞれの記事を年4回の冊子に編集し、リージョン会報と同時に発行しています。教育資料に関しては、委員長から監修にまわり、出版委員会から資料として出版されます。オールクラブメーリング部門は、10月と4月の年2回ITC本部から全クラブ宛に送られてくる書類の翻訳を担当しています。

お手元に翻訳資料が届くまでに、数多くの会員の手が加わり、時間と神経が注がれています。また、ITC特有の訳語があるため、部外者に任せてしまうわけにもいきません。全会員に活用していただけることを信じて、委員は皆、翻訳に携わっています。



Q：翻訳する記事や資料を選択する時に心がけていらっしゃることは？

A：委員の労力を無駄にしないためにも一過性のものは避けて、後々まで資料として活用できるものを選ぶようにしています。

Q：翻訳をする委員、チェックをする主任や委員長、どういうところに神経を使われますか？

A：普通は訳さない冠詞 a にも重要な意味がある場合があります。又、ネイティブ（英語を母国語とする人）だからといって、必ずしも正しい英語を使っているとは限りません。読みやすく、きれいで、いい日本語にするためには、内容をしっかり把握しなければなりませんし、ITC のこともよく知っている必要があります。

Q：翻訳されていない教育資料で何かおもしろそうなものがありますか？

A：「ファッション・コメンテイティング(Fashion Commentating)」という資料があります。プログラムでファッション・ショーをする時など、役に立つのではないのでしょうか。

Q：最後に、委員会としてやってみたい仕事がありますか？

A：今までに出版されたITCの資料をジャンル別に分類し、一覧表にして出版したいと思っています。

インターネット

Internet

ITC ニュース

本部建物の債務返済完了！

1996年3月16日(土)ITC本部で、素敵な行事が予定されています。本部の建物の債務返済が完了するので、一緒に祝いましょう。もし、この幸先の良い日に、アナハイムに来れないようなら、ご自分達の返済完了パーティを考えてみてください。

この行事は、ITC 会員一人一人が、どこにクラブがあろうとも一生懸命この何年もの間 ITC 本部の建物の返済の為に、尽くしてきたからこそ、可能になったのです。どのようにあなたのクラブがお祝いをされるか知らせて下さい。行事を計画し、写真を撮り広報担当委員長まで送って下さい。

(ルネー・トゥレンズ ITC 広報担当委員長通信より抜粋)

ニュージーランドに2つ目のジーニスクラブ誕生！

昨年7月にベイ・オブ・アイランズ大学ジーニスクラブがチャーターされました。例会は月2回、大学の授業が始まる前に朝食会を兼ねて行なわれ、ビジネスよりもプログラムを重視。リージョン年会費も1クラブ15ドルと最小限に押さえられています。ITCのジーニスクラブはこれで計3つになりました。

日本リージョンニュース

☆イースト神戸クラブの置塩啓子さんがITC本部企画委員会の委員に選出されました。

☆各広報委員会の動きに朗報

- 東海ラジオ番組「ラジオにおまかせ」に出演 (カウンスルNo.1)
- 茨城放送が取材 (カウンスルNo.8)
- 熊谷テレビが彩玉クラブ取材
- 講演会「国際化社会と女性の生き方」に参加出演 (三田クラブ)
- 「95ひめじ女性いきいきフェスタ」参加出演 (姫路、しらさぎクラブ)
- その他、地元の各タウン誌にぞくぞく紹介される。

☆徳山クラブ(仮称)チャーター！

山口県に初のITCクラブ誕生。

平成8年3月19日(火)、ホテル・サンルート徳山でチャーター式典が行なわれる。

(ホテル・サンルート徳山 〒745 山口県徳山市築港8-33)
TEL 0834-2611
会 費：8,000円

大震災 あれから一年……

A Year after the Earthquake

編集：あの恐ろしい震災から一年たちますが被災地の皆さんのクラブでは如何ですか。クラブの状況からお話いただけますか。

K：当時は会員の連絡がとれず、例会場所も駄目とダメージが大きくITCを一時休止をしようかとの意見もあったが火を消してはいけない、生か死の間にあって生命があってよかったと喜び合い、再び例会を続けて行く事ができました。これからやっと落ち着いて話ができる状況です。

E：1月例会は連絡取れず、2月も例会できず、3月に水、ガスの無い生活、寒さの為オーバを着て寝た話等、どんなに大変だったかと言う話の例会を開いた。インスタレーションの時、唯一被災を免れたメンバーからのプレゼントに嬉しく、又長い道のりを歩いて、お見舞やお手伝いを頂き、刹那的な集いでない強いつながりの仲間があった事に感謝しました。

C：3月例会から開きましたが、全員が出席できた喜びで、雑談程度に終わりました。会場探しが大変で見舞金は会場費の一部に当てています。

M：例会は5月から開始できました。見舞金は一部個人に一部クラブにわたりました。

N：例会は6月にやっと開きました。5周年もとりやめました。

見舞金は、クラブに入れるべきものでもない個人にわけました。

クラブの変わり目でもあり、いろいろな事情で現在、会員は11人です。負担のかからないプログラムを心がけていますが、役員も自発的に決まり、少し変則的ですが、今はクラブの基礎作り。焦らずやってみようつもりですが、カウンスルあげての支援を頂き、とても感謝しております。

T：被害者があまりなかったので3月より通常例会ができました。

「がんばろう宝塚」のタイトルで有馬へ一泊旅行して互いに励まし合いました。

K：例会場だった旧オリエンタルホテルは全壊、西明石まで行っていますが遠いですね。

会員の状況は本当に大変だったが、例会に来ると減入っている気分が休まってホットする方が多く全員出席です。今年20周年ですが…皆様からのお手紙がとてうれしかったです。

A：会員の被害状況もひどく、当時の会長宅は全壊だというのに3月から例会を開始され、とてもがんばられました。見舞金は例会の補助にしています。ITC基金も免除されました。今も恐怖心は消えないですね。例会の出席率が少し悪いのは後遺症でしょうか。

R：家屋全壊3名、賜暇会員2名、退会1名という状況ですが、欠席が多くプログラム役割分担が大変です。10周年は中止します。

A：会員の被災は比較的軽く、地震の影響はなかった。今年は10周年になるのでテーマは「New Start」、がんばりたいと思います。見舞金は予算に入れて上部レベルの年会費等に当てました。

O：会場と交通には困りましたが、10月から元の場所に戻れました。

家屋全壊2名、母、夫死亡各1名ずつと気の毒でした。地震での退会者はなく例会運営には支障ありません。

K：うちのクラブは夜の例会でしたが、土曜日の昼に変えました。

やはり夜の外出が危険と言うことです。

編集：皆さん大変な苦勞があったのですね。同じカウンスルで被害のなかったクラブはどうですか。

H：Sクラブと合同で第4回のカウンスル例会の茶菓費を受け持たせて頂きました。
何か応援できるものがないかとあれこれと考えました。

C：今度のような大変な時、ITCの組織での社会的につながる何かが出来ないのか。
ITCの社会的な働き等こんな時考えてしまいますね。

編集：今後の課題でもありますね。カウンスルはどうですか。

No.2：見舞金は最終例会にて1人500円の補助にしました。当時の会長は190名全員に見舞状を出され、安否を気遣われました。6月に送られてきた見舞金は8クラブに均等に分けられました。ITCを心の支えにがんばっていきたいと言う雰囲気でもって盛り上がり、例会の出席率は増えてるぐらいです。

No.3：見舞金は6つのクラブにわけました。最初は例会運営を続けていけるかどうか心配しましたが、震災の重荷をいつまでも背負うより一致協力、くよくよしないで明るく、互いに励まし合っています。会員も2名減のみで4名増えました。その他被災会員にはカウンスル例会費を補助したり、CMTの補助にもいたしました。

本当に有難うございました。

編集：思いがけない自然の災害とは言え、私達にいろんな教訓を与えてくれました。

ITCを支えとしてがんばるとのご意見は、力強い言葉ですね。これからの奮闘をかげながら応援しております。がんばってください。

注：カウンスルNo.2、No.3会長、並びに所属各クラブ会長より電話インタビュー頂きましたものを座談会形式にまとめたものです。



舞子クラブのX'masプログラムは「テーブル・マナー」
会場一杯のお客さま



関西クラブのX'mas
メインテーブルはこちらノ持ち寄りパーティ

こちら編集室

「本」という形ある物を手作りに近い形で作り上げていく喜びと同時に、役立つ、公平な情報を伝え、個と全体のバランスのとれたコミュニケーションを図ることの奥深さ、難しさも味わっています。一つの記事を取り上げるのにも様々な視点があり、編集会議では、互いの信頼のもと率直な意見で白熱することもしばしば、楽しく学ぶことの多い編集活動です。編集室では皆様からの積極的なご意見、ご投稿をお待ちしております。

編集者 中村博子

スタッフ 梶本町子 西田多栄子 鞠川永津子

第14回 日本リージョン大会
大会テーマ 「あなたの煌めき 世界のあしたへ」

大会準備委員長 片桐 寛子



開催日：1996年6月4日(火)5日(水)

場 所：名古屋ヒルトン

「早うからまわししとるんだわね」＝「ずいぶん前から準備しているのですよ」

第13回大会で、ホテルオークラ東京のステージからこぼれ落ちそうなほど大勢のカウンシルNo.1のメンバーが「次回は名古屋で会いましょう」と呼びかけた熱意を、皆様受けとめて下さいましたでしょうか。

10月23日に、リージョン会長、カウンシルNo.1会長にも出席していただき、第1回の準備会合を持ちました。

時間と手間をかけながら準備を進めておりますが、その一つ一つの作業が人とかかわり成り立っていることを実感し、これこそコミュニケーション訓練の実践ではないかと思っております。大勢の仲間が相談しあい、力を出しあうことで、よい知恵も生まれ、大きな仕事も出来るのだという喜びも味わっております。

リージョン大会は、全国からの会員の皆様が、「まあ、しばらく」「はじめまして」と楽しい人間関係をひろげてゆく場でもあります。

名古屋の大会に、あなたの煌めきを加えて下さいますように。

《たなばた》の出逢いを大切に！

プログラム・教育委員長 早川 住江

一年に一度の日本リージョンは、学び、情報を交換し会員同士が友好を深める事ができる大変貴重な機会です。《たなばた》の出会いを有意義にするために、教育セッションに積極的に、ご参加下さる事を期待しております。一日目は併行プログラムですから、一部門しか選んで頂けません。魅力あるプログラムばかりでどれにしようかとお迷いになるでしょうがどうぞ一つだけ選んでお申し込み下さい。二日目の講演は同じ会場で続けて致します。これを逃がすつもりで聴けないような大きな講演ですから皆様の参加をお勧め致します。

なお、万一教育セッションの時間、内容などに変更が生じましたら、会報3号にお知らせ致します。

申込の要領：申し込み、変更、取り消し、お問い合わせなどは、全てクラブ会長の責任でお願い致します。

手順：大会登録委員会から各クラブ会長宛に送られます登録用紙の一日目の教育セッション欄に(A)(B)(C)の内一つをご記入下さい。

変更、取り消しは必ず、葉書で下記宛お送り下さい。

〒558 大阪市住吉区万代3-1-5 早川 住江

第14回 日本リージョン大会プログラム予定表

Japan Region 14th Annual Conference Program Plan

6月3日(月) June 3, (Mon)

名古屋国際会議場

Nagoya Congress Center

9:45~10:00	リージョン運営研修会受付	Region Management Training Registration
10:00~12:00	リージョン運営研修会	Region Management Training
12:30~13:00	カウンスル運営研修会受付	Council Management Training Registration
13:00~16:00	カウンスル運営研修会	Council Management Training
16:15~18:15	リージョン運営研修会	Region Management Training

6月4日(火) June 4, (Tue)

名古屋ヒルトンホテル

Nagoya Hilton Hotel

8:30~9:45	登録受付	Registration
9:00~9:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00	入場・開会式	Opening Ceremony
10:45	ビジネス ITC インフォメーション	Business ITC Information
12:00~12:50	昼食 選挙 (派遣員)	Lunch Election (Delegates)
13:00~14:40	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
14:50	選挙結果発表	Election Report
15:00~16:40	教育セッション 外部講師と会員部門 (3)	Training Session Guest & Members (3)
17:00~17:30	晩餐会	Banquet
17:40	受付	Registration
18:00~20:00	表彰	Awards
20:00~20:20	晩餐・余興	Banquet and Entertainment
	役員就任式	Installation

6月5日(水) June 5, (Wed)

名古屋ヒルトンホテル

Nagoya Hilton Hotel

8:30~ 8:55	登録受付	Registration
9:00~10:00	ビジネス	Business
10:00~10:50	教育セッション ITC 公式訪問者の講演と Q&A	Training Session ITC Official Visitor's Session
11:00~12:20	講演	Lecture (Guest)
12:20~13:00	昼食	Lunch
13:10~15:00	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:10~16:00	報告	Announcement
16:00	閉会	Adjournment

教育セッション一覧表

Training Session

1996年6月4日(火) 15:00~16:40

Tuesday, June 4, 1996, 15:00~16:40

	講師・リーダー	内 容
A 講演 Lecture 「女の言葉が男を変える」 “Women's words will change men”	木下明美氏 Ms. Akemi Kinoshita ジャーナリスト Journalist ブックアドバイザー Book advisor	パートナーシップをテーマに現代人の生き方を幅広い分野からとらえる。生涯学習や女性政策のアドバイザーとして活躍中。 Partnership is the theme of the lecture featuring contemporary ways of living from wide-range viewpoints, Advisor of lifelong-studying and women's policy.
B 英語によるワークショップ Workshop in English	笹本晃子氏(元会員) Ms. Akiko Sasamoto (past member) Assistant professor at Ootemon University	「通訳を使つてのスピーチの仕方」 Effective presentation of yourself through an interpreter.
C 知っ得クイズ Shittoku Quiz	8カカウンシルからの代表 Representatives from each of eight councils	出席者全員が参加するクイズ形式の楽しいワークショップ。 知って得する盛りだくさんの内容。 All attendants will take part in the quiz program which provides you with worthwhile knowledge.

1996年6月5日(水) 10:00~10:50

Wednesday, June 5, 1996, 10:00~10:50

講演と Q&A Lecture, Q&A	ITC 公式訪問者 ITC Official Visitor	この機会を活かして、ITCの全てを学びましょう。 Let's take this opportunity for learning more about ITC.
-------------------------	-----------------------------------	--

1996年6月5日(水) 11:00~12:00

講 演 Lecture	エツコ・オバタ・ライマン氏 Dr. E. Obata Reiman Associate professor at Arizona State University	NHK学園《ことば》に執筆 コミュニケーションに関して大変興味のあるお話しです。 著書「バイリンガルへの成長過程」 She will talk about communication, which will surely draw your interest. She has written many books on Japanese language, e.g., “Process in the Development of Bilingualism”
----------------	--	---

日本リージョン大会登録及び食事申込書

Registration & Meal Reservation Form

会員用申込書

カウンスルNo.		フリガナ	役 職 名	
クラブ		会員名		
出席日	6月4日	登録費	6,700円	円
	6月5日			
食事予約	6月4日	昼食	3,000円	円
		晩餐会	10,000円	円
	6月5日	昼食	3,000円	円
欠席		欠席協力金	1,000円	円
合 計 金 額				円

ゲスト用申込書

カウンスルNo.		フリガナ	フリガナ
クラブ		紹介者名	ゲスト名
出席日	6月4日	登録費	2,500円
	6月5日		
食事予約	6月4日	昼食	3,000円
		晩餐会	10,000円
	6月5日	昼食	3,000円
合 計 金 額			

☆必要事項を記入し、コピーしたものにお金を添え、クラブ会計に提出して下さい。

注：1. 役職名はリージョン役員、リージョン常任委員会委員長、各レベル会長、リージョン派遣員及び代理のみ記入して下さい。

2. 該当する日付に○印を入れて下さい。

3. ゲスト用申込書が足りない場合は、コピーしてお使い下さい。

4. 派遣員の方は、選挙の為、6月4日の昼食は必ずご予約下さい。

☆クラブ会計への申込締切日は1996年4月10日です。申込締切後の変更事項は、クラブ会計にご連絡下さい。（5月10日以後の取消は返金できません。）

☆欠席する会員（賜暇会員を含む）は欠席協力金をお願いします。

☆別途、クラブ宛に申込要項及びクラブ別登録集計用紙をお送りします。クラブ会計は、その用紙にクラブ全員の申込状況を記入して下さい。

登録委員長への申込締切日は1996年4月13日です。

☆お金は後日登録会計委員長の口座へ送金していただくことになります。

郵便貯金総合口座（記号12150 番号55516641） ITC 日本リージョン登録会計

登録委員長 小笠原生子（東山）

登録会計委員長 森 尉江（東山）

食事委員長 石川好子（錦）

ホテル宿泊申込書

Hotel Reservation Form

カウンスルNo.	フリガナ		大会関係役職名
	クラブ	会員名	
ホテル名	第1希望		部屋タイプ
	第2希望		同室者名
宿泊希望日：6月3日(月) 4日(火)			宿泊日を○で囲んで下さい

ホテル名	部屋タイプ	料金(1名分)	備考
名古屋ヒルトン (大会関係者優先)	シングル	¥20,000	朝食
	ツイン (1室2名利用)	¥14,000	サービス料
	トリプル (1室3名利用)	¥12,000	税金を含む

(チェックイン12:00 チェックアウト12:00)

〒460 名古屋市中区栄1丁目3-3 ☎(052)212-1111 FAX(052)212-1225

名古屋観光ホテル	シングル	¥13,000	朝食
	ツイン (1室2名利用)	¥12,000	サービス料
	トリプル (1室3名利用)	¥11,000	税金を含む

(チェックイン12:00 チェックアウト12:00)

〒460 名古屋市中区錦1丁目19-30 (名古屋ヒルトンへ徒歩2分)

☎(052)231-7711 FAX(052)231-7719

名古屋クラウンホテル	シングル	¥8,800	朝食
	ツイン (1室2名利用)	¥7,000	サ・税金を含む

(チェックイン15:00 チェックアウト10:00)

〒460 名古屋市中区栄1丁目8-33 ☎(052)211-6633 FAX(052)211-4412

★天然温泉のあるホテルです。(名古屋ヒルトンへ徒歩2分)

申込案内

- ①宿泊を申し込む会員は、宿泊申込書(点線上部)をコピーし、登録申込書とは別にクラブ会計に提出、クラブ会計は別途お送りする宿泊関係の一覧表に記入して、宿泊申込書と共に宿泊委員長までお送り下さい。
- ②5月10日以降の変更(キャンセル、追加等)は会員が各自直接ホテルに連絡して下さい。
- ③キャンセルは前日までは無料、当日のキャンセルは100%です。
- ④お支払いは、各自チェックアウト時をお願いします。
- ⑤今回はホテルが3ヵ所になっております。ご希望に添えない場合は、ご了承下さい。

宿泊委員長 足立 徳子(東山)

〒466 名古屋市昭和区滝川町12 ☎(FAXも)052-832-0928

☆申込締切日 1996年4月10日厳守

第14回日本リーグン大会準備委員会名簿

コーディネーター 片桐寛子(錦)
 コ・コーディネーター 新木昌子(名古屋)
 コ・コーディネーター 松井 葵(東山)

委員会	委 員 (○印…………委員長)
大会会計	○鶴飼恵津子(名古屋) 古澤由紀(浜松)
登 録	○小笠原生子(東山) 近藤由美子(東山) 棚橋千珠子(東山)
登録会計	○森尉江(東山) 岡島詠子(錦)
食 事	○石川好子(錦) 竹内汎子(錦) 島本佐江子(名城) 荒川昭子(東山)
宿 泊	○足立德子(東山) 岩崎潔子(東山)
キ ッ ト	○榎村元子(葵) 柴田陽子(葵) 杉浦節子(葵) 山中節子(葵) 伊佐治博子(名城) 木村雅美(名城) 服部美美子(東山)
会場・備品	○高橋弘子(葵) 藤田礼子(葵) 林 良子(葵) 河辺茂子(葵) 近藤みほ子(葵) 中村千織(葵) 中野伴子(葵) 榊原せい子(葵) 塚本博子(葵)
デコレーション	○村上令子(名古屋) 神谷啓子(名古屋) 浦野美里(名古屋) 棚橋てつ代(千種)
儀 典	○豊島知子(名古屋) 須知繁子(名古屋) 原 誠子(錦) 異相由美(錦) 山本弘子(錦)
名札・リボン	○本屋良子(ぎふ) 阿部杏子(ぎふ) 早川裕子(ぎふ) 林孝子(ぎふ) 森崎由枝(ぎふ) 森嶋裕子(ぎふ)
接 待	○西村みつ子(名古屋) 森露子(名古屋) 佐伯圭子(葵) 川崎瑠子(錦) 溝口弘子(栄) 島本佐江子(名城) 梶浦明美(東山) 古澤由紀(浜松) 松井嵯峨(飛騨高山) 早田啓子(ぎふ) 岩田みつ(千種) 野村眞智子(刈谷)
V I P 接 待	○盛田純子(名古屋) 奥田小夜子(錦) 清水京子(千種)
ホスピタリティ	○下出のり(葵) 伊藤孝子(葵) 牛込佐知子(葵) 堀内廸子(錦) 森本保子(錦) 水谷圭子(名城)
インフォメーション	○水越弥生(刈谷) 池田伊代子(刈谷) 井野玲子(刈谷) 森川佐智子(刈谷) 杉浦真佐子(刈谷)
エンタテインメント	○佐藤明子(名古屋) 吉田千鶴子(名古屋) 社本美穂子(錦)
ペ ー ジ	○村本かをり(東山) 中野伴子(葵) 杉山桂子(葵) 伊藤容子(東山) 川村正美(東山) 松本紀子(東山) 柿下光子(飛騨高山) 天野櫻子(刈谷) 堀 康子(刈谷)
写 真	○富田範子(名城) 深貝章世(名城) 林喜代子(名城) 近藤万千子(東山)
物 品 販 売	○野村弘子(名城) 稲葉由利子(名城) 幸村りつ子(名城) 内藤久子(刈谷)
広 報	○岩田はるみ(葵) 浜田幸代(葵) 葛谷美紀子(名城)
観 光	○斎藤佳枝(浜松) 中村千代子(錦) 松本妙子(浜松) 桜井雅子(浜松) 長瀬理々子(飛騨高山) 米倉博子(ぎふ)
受 付	○鈴木和子(栄) 栄クラブ会員 キット委員会 名札・リボン委員会

第14期リージョン大会予算書

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
大会準備補助金	1,000,000	リージョン通常会計から
登録費	5,100,000	6,700×750 2,500×30(ゲスト)
欠席協力金	1,000,000	1,000×1000
利息	10,000	
物品販売	100,000	
ホテル食事費	9,250,000	10,000×700晚餐会 3,000×750昼食
雑収入	20,000	
合 計	16,480,000	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
大会準備委員長	50,000	
大会準備副委員長	20,000	
大会会計	10,000	
登録会	20,000	
登録会	1,000	
食事泊	10,000	
宿泊	10,000	
キット	225,000	300×750
プログラム印刷	500,000	
会場備品	8,000	
テコレーション	50,000	
名札・リボン	25,000	
儀典	10,000	
接待	5,000	
ホスピタリティ	10,000	
インフォメーション	4,000	
ペー	5,000	
写真	30,000	
物品販売	5,000	
広報	20,000	
観光	3,000	
エンタテインメント	200,000	
スピーチコンテスト	200,000	
ワークショップ	450,000	
V I P 接待	120,000	公式訪問者宿泊費(4泊分)
受付	4,000	
準備会会場費	260,000	
ホテル借室料	4,500,000	
ホテル設備費	250,000	
ホテル食事費	9,250,000	
交通費補助	5,000	遠隔地の大会準備委員長
雑費	40,000	
予備	180,000	
合 計	16,480,000	

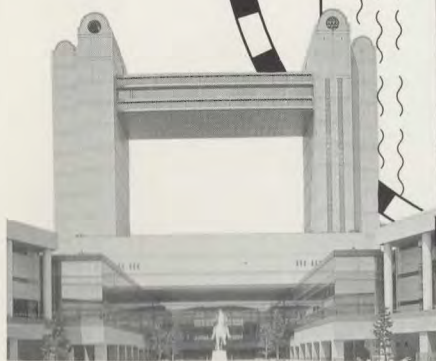
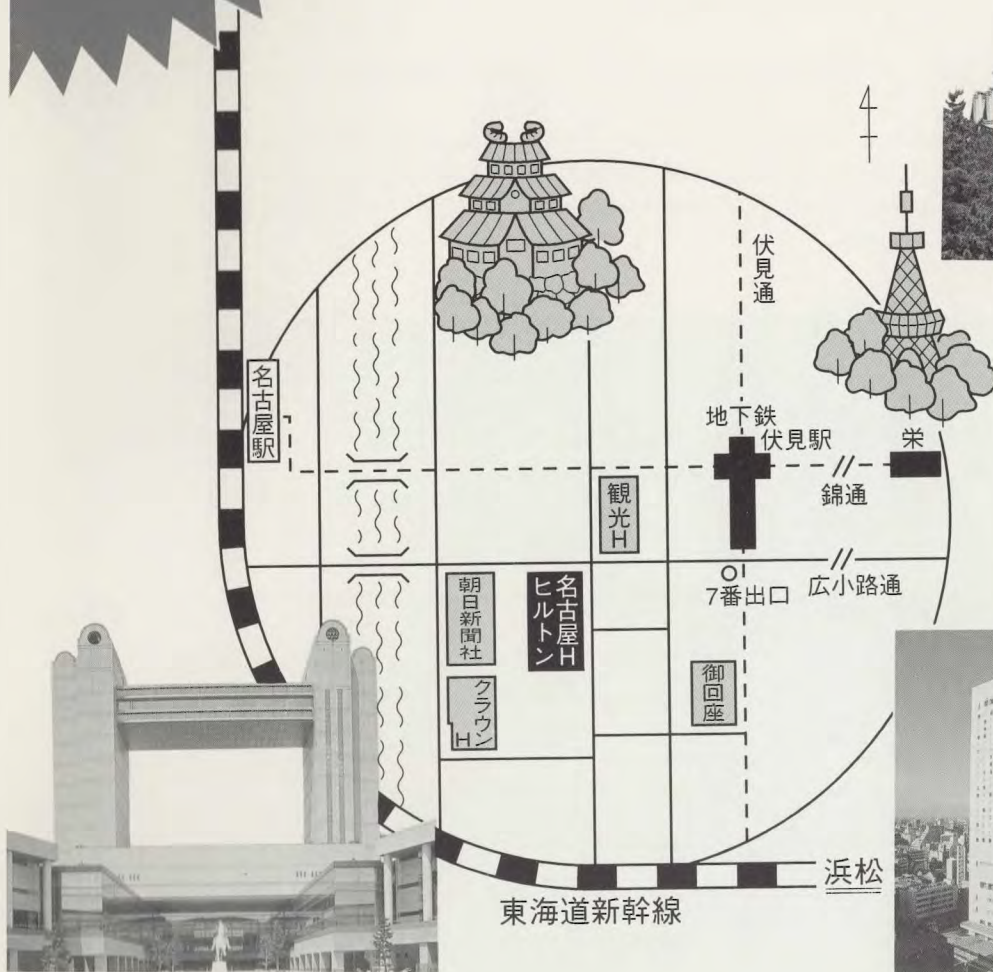
第14回大会会計 鶴飼恵津子 古澤由紀

観光と交通の ご案内

観光委員長 齋藤 佳枝 (浜松) ☎053-436-7029
 期間中、会場に「観光案内デスク」を設け、名古屋市内
 及びメンバークラブのある近隣の観光、芸術観賞、歴史
 旧跡の探訪、食事、買物等のお手伝いをいたします。楽
 しい思い出を作ってくださいませよう、観光委員会の委
 員一同心をこめて準備を進めております。



●名古屋城



●名古屋国際会議場
CMT、RMT会議場



●名古屋ヒルトン
リージョン大会会場

〔名古屋ヒルトンへの交通のご案内〕

- ◆JR・名鉄・近鉄名古屋駅から
 - 地下鉄東山線「伏見」(一つめの駅)下車、
7番出口より徒歩5分
 - タクシー約10分(690~780円)
 - 徒歩15分
- ◆名古屋空港からタクシー30~40分
(4,000~5,000円)

発行：1996年1月
 会報発行者：ITC日本リージョン
 印刷所：(株)ナカイ紙工社
 (☎06-976-2101)

ITC日本リージョン声明文

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供し、リーダーシップをそなえた成熟した社会人を養成し社会に貢献することにある。 1994. 8. 24 役員会採択

Mission Statement of Japan Region

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.